

2017年度活動報告書 赤松正行 役職：教授

学内での活動

1 教務委員会（委員長）

現在および今後のカリキュラムを検討し、授業が円滑に進行するよう連絡・調整した。

2 入学試験委員会

現在の入学試験を調整し、新課程創設を含めた将来の入学制度について検討した。

3 芸術特論C（専門科目）

四方幸子氏、前林明次氏とともに専門科目である芸術特論Cを担当し、全教員による議論では今日のメディアと芸術をめぐる動向と諸問題を検討した。個人の講義ではARやVRを含むリアリティの問題、生活に浸透するモビリティの意義、そして自律分散型の社会の在り方などを紹介し、簡単なワークショップの実施とともに理解を促した。

4. 移動体芸術（プロジェクト科目）

伊村靖子氏、鈴木宣也氏、瀬川晃氏、松井茂氏とともにプロジェクト科目である移動体芸術を担当し、自転車やドローンなどの「移動」する道具装置と、それを利用する人々の様相を対象として政策研究を行った。その成果は、自転車に乗ることの批評性を探求する任意グループ「クリティカル・サイクリング」での活動や、2日間に渡って養老公園で開催されたアート・イベント「養老アート・ピクニック」の企画運営などにおいて発表した。

5 個人研究

個人ゼミを主催し、有志学生とともにメディア・アート関連の議論と制作を行い、参加学生の修士研究や年次制作などの指導もゼミとして行った。

学外での活動

展覧会やアプリなどを通じて、作品の構想から制作、発表、記録などの一連の作業を行った。これらの作品はモバイル・デバイスやウェアラブル・デバイス、そしてAR(拡張現実・変容現実)やVR(仮想現実)を基盤技術とする表現であり、自転車など伝統的なフォーマットを超える新しい可能性も探求した。

発表歴（時系列逆順）

2018.03.24 – 03.28 中国自転車事情調査, 桂林・深セン, 中国

2018.03.23 – 04.08 展覧会「動き出す美術館～ARワンダーランド仙台展」, せんだいメディアアテーク, 仙台

- 2018.02.22 – 02.25 展覧会「Critical Cycling+移動体芸術展 2018 Winter」, IAMAS, 大垣
- 2017.11.18 – 11.19 アート・イベント「養老アート・ピクニック」, 養老公園, 岐阜
- 2017.09.16 – 2018.03.11 展覧会「マジカリアル」, SKIPシティ, 川口
- 2017.07.29 – 07.30 展覧会「Critical Cycling+移動体芸術展 2017 Summer」, IAMAS, 大垣
- 2017.07.23 ワークショップ「鳥獣戯画をARしよう!」, テレピアホール, 名古屋
- 2017.07.22 アーティスト・トーク「拡張される現実と幻想・ITテクノロジーとアート」, テレピアホール, 名古屋
- 2017.07.22 – 09.03 展覧会「ARワンダーランド」, テレピアホール, 名古屋
- 2017.06.09 – 06.19 オランダ・デンマーク自転車事情調査, アムステルダム・コペンハーゲン他, オランダ・デンマーク
- 2017.04.22 – 05.07 展覧会「動き出す美術館～ARアートミュージアム」, サンロード青森, 青森